

特定小電力トランシーバー **FC-G20R**

取扱説明書



この度、FIRSTCOM FC-G20R をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことがあった時に再度お読みください。

このトランシーバーは日本国内専用機器ですので、国外ではご使用できません。

目次

安全上のご注意.....	3
通話チャンネルについて	7
FC-G20R の便利な機能.....	8
準備	9
同梱品の確認.....	9
電池の取り付け.....	10
ベルトクリップの取り付け.....	11
各部の名称.....	12
通話する	13
電源を入れて音量を調節する.....	13
チャンネルを選択する	13
通話する（単信）.....	14
中継器対応チャンネルでの送受信.....	14
電源を切る	16
キーロック	16
チャンネルスキャン機能.....	17
グループモード機能.....	18
ベルコール機能.....	19
ハンズフリー機能（VOX）.....	20
VOX ホールドタイム（VOX 送信保持時間）.....	21
PTT ホールド機能.....	22
送信開始音設定	23
送信許可・禁止設定.....	24
スケルチ設定.....	25
秘話通話.....	26
キートーンオン／オフ	27
ラジャートーン	28
オートパワーオフ機能	29
中継器対応チャンネル	30
フラッシュライト	31
バッテリー残量を見る	31
故障かな？と思ったら	32
別売りオプション	33
充電方法.....	33
FH-31WP イヤホンマイクの取り付け	34
仕様	35
周波数表.....	36

安全上のご注意

表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う危険性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

危険

- 使用にあたり、指定のバッテリー以外は使用しないでください。液漏れ、発火、破裂させる原因となります。
- 火の中に投入したり、加熱したり、はんだ付けなどしないでください。
- 電池から漏れた液が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けて下さい。
- 電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した時は、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 電極をショートさせないでください。

警告

- 使用環境・条件
- 交通安全上、運転しながらの交信はお止め下さい。
- 電子機器、特に医療機器の近くでは使用しないでください。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内では、使用しないでください。
- 海外では使用できません。

注意

■ 使用環境・条件

- テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどのそばで送信しないでください。
- 車内のダッシュボードやヒーターの吹き出し口など異常に温度が高くなる場所にはおかないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■ 保守・点検

- お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーを外してから行ってください。
- 水滴が付いたら、乾いた布で拭き取って下さい。汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

[免責事項]

お客様または第三者が本製品の誤使用、誤設定、使用中に発生した故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外部的な要因によって、情報・通信等の機会を逸したために生じた損害等につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電波法に関する注意

＊ 下記の内容は電波法により禁止されています。

- 本機裏面の技術適合証明ラベルを剥がしての使用
- 本機を分解、改造しての不正使用
- 他人の通話を聞いてこれを人に漏らす行為
- 航空機など、使用を認められていないところでの使用

上記の内容をよく理解して、正しくご使用ください。

ご使用上の注意

- 本機は、特定小電力トランシーバー、9ch 機、11ch 機、20ch 機及び中継器対応 27ch 機のトランシーバーと通話することが可能です。
- 通話できる距離は、環境により大きく変わります。中継器を使用しない場合の目安としまして、見晴らしの良い郊外でおよそ 1 km、市街地でおよそ 100m です。建物などの障害物により通話距離が大きく左右します。
- 本機は JIS 7 級相当の防水構造になっています。電池交換時にはしっかりと蓋を閉めてご使用ください。
- テレビ、ラジオ、パソコン、蛍光灯のすぐそばでは、電波障害を与えたり受けたりすることがありますので、これらのものから離れて使用してください。

通話チャンネルについて

既に本機以外のトランシーバーをお持ちの場合、通話チャンネルを合わせることで、本機と交信することが可能です。

通話チャンネル適合表

本機及び多数の 20ch 機	11ch 機	9ch 機	他表示タイプの 20ch 機
ch01	ch1		ch1
ch02	ch2		ch2
ch03	ch3		ch3
ch04	ch4		ch4
ch05	ch5		ch5
ch06	ch6		ch6
ch07	ch7		ch7
ch08	ch8		ch8
ch09	ch9		ch9
ch10	ch10		ch10
ch11	ch11		ch11
ch12		ch1	ch h1
ch13		ch2	ch h2
ch14		ch3	ch h3
ch15		ch4	ch h4
ch16		ch5	ch h5
ch17		ch6	ch h6
ch18		ch7	ch h7
ch19		ch8	ch h8
ch20		ch9	ch h9

FC-G20R の便利な機能

●中継器対応

中継器を使用して通話をすることで、通信距離が大幅に広がります。

●ハンズフリー機能（VOX 機能）

PTT を押さなくても、マイクに向かって話すだけで自動送信されます。

●PTT ホールド機能

一度 PTT を押すだけで送信状態を保持することができますので、長時間の通話も楽になります。

●キーロック

アクシデントで何かキーが押されても、キー入力をキャンセルしてくれます。

●グループ機能

38 個のグループで、通話先を限定することが出来ます。

●フラッシュライト

暗い場所でちょっとした懐中電灯代わりに、また点滅をさせて非常灯に使用できます。

●1.5V 動作

単三電池 1 本で動作可能です。

●防水・防塵

IP67 準拠の防水・防塵仕様です。

準備

同梱品の確認



本体



ベルトクリップ



取扱説明書

電池の取り付け

1. 本体底部の電池蓋スクリューを反時計回りに回して取り外します。硬貨等を使用して電池蓋スクリューを回すと作業がしやすくなります。



2. 電池の電極に注意しながら、単 3 電池を 1 本入れます。(電池蓋の方向がプラスです)



3. 電池蓋スクリューを時計回りに回して閉めます。

電池に関する注意

- 火の中に投げ込まないでください。
- ショート（短絡）、分解、加熱をしないでください。
- 長時間使用しない時は、本体から電池を取り出して保管してください。

本機の使用可能時間は、約 35 時間です。

注）測定条件：新品アルカリ単 3 電池を 1 本使用、低周波出力 100mW 時に送信 10 秒、受信 10 秒、待受け 80 秒の繰り返し動作

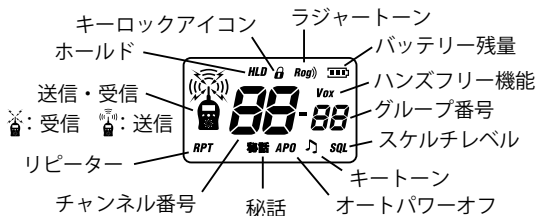
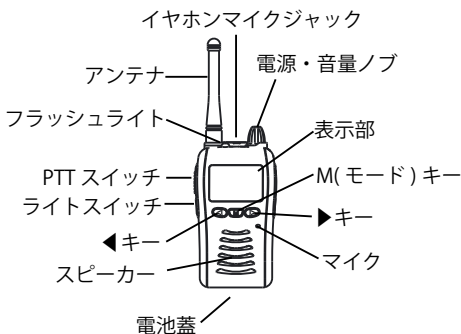
ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本体裏面上部からガイドに沿ってスライドさせてください。ベルトクリップの爪が固定されれば、ベルトクリップの取り付けは完了です。



取り外す際は、上部の爪を外しながらベルトクリップを上部へスライドさせてください。

各部の名称



通話する

電源を入れて音量を調節する

“電源・音量”ノブを時計回りに回して電源を入れます。電源が入ると LCD にチャンネルなどが表示されます。通話時に電源・音量ノブを回して音量を程よい位置に調整してください。

音量は時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。反時計回りに回しきると電源が切れます。

バックライトは、電源オン時や何かしらのキーを押したときに点灯します。点灯時間は約 5 秒間です。

チャンネルを選択する

“◀ / ▶” キーを押すとチャンネル番号が点滅をします。チャンネル番号が点滅している間に“◀ / ▶” キーを押して希望のチャンネルを選択します。“PTT” スイッチまたは“M” キーを押すとチャンネルが決定されます。点滅状態で何も操作がない場合、約 10 秒後に表示されたチャンネルで決定され、元のチャンネル表示に戻ります。

目的のチャンネルを選択する際に「通話チャンネルについて」を参考にチャンネルを選択してください。中継器対応のチャンネルの場合 RPT アイコンが点灯します。

通話する（単信）

“PTT” スイッチを押すと送信を開始します。送信すると LCD の送信アイコンが点灯します。“PTT” スイッチを離すと送信アイコンが消灯し受信待ち受け状態に戻ります。

相手からの信号を受信すると液晶に受信アイコンが点灯しスピーカーから相手の音が聞こえます。（連続通話時間、連続送信時間は最大3分です。）

中継器対応チャンネルでの送受信

あらかじめ中継器で使用するチャンネルとグループを選択しておきます。チャンネルの選択方法は 30 ページの「中継器対応チャンネル」を参照してください。

1. 送信操作

“PTT” スイッチを押して送信し、押したまま中継器からの応答を待ちます。

中継器と正常に通信が確立されると、スピーカーから中継器接続音が「ピーピー」と鳴ります。その後、“PTT” スイッチは押したままの状態での通信が開始されます。

(一旦“PTT”スイッチを放しても中継器接続音のあとに“PTT”スイッチを押して送信を開始できます)

送信開始音を ON にすると、中継器との通信が確立されたあとの再送信でも送信開始音が鳴りますので、2 回目の送信開始音が鳴ったあとに話を始めることができます。

注意

- PTT HOLD 機能は中継器との通信が成功したあと、通話状態で有効になります。
- 中継機対応チャンネルでベルコール機能は使用できません。

2. 受信と応答

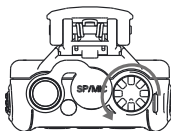
待ち受け状態で信号を受信すると、スピーカーから相手の声が聞こえてきます。

最初に応答する場合、中継器からの送信が終わり受信になってから 2 秒以内に送信を開始して下さい。(中継器が送信している間は最初の応答はできません)

通話待受状態が 2 秒を超える場合、会話をする前に中継器への接続が再度必要となるため、「1. 送信操作」から行なって下さい。

電源を切る

電源が入っている時に、“電源・音量”ノブを反時計回りに回しきると電源が切れます。



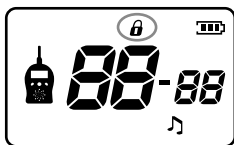
キーロック

間違えてキーを押さないように、キーをロックすることが出来ます。

“M” キーを長押（3 秒以上）すると、キーロックアイコンが点灯し、キーロックが動作します。

キーロック中は“ライト”スイッチ、“M” キー、“◀ / ▶”キーはロックされて動作しません。“PTT”スイッチ、“電源・音量”ノブは動作可能です。

キーロックを解除するには、“M” キーを再度長押し（3 秒以上）してキーロックを解除して下さい。



チャンネルスキャン機能

通話しているチャンネルを自動的に探します。

1. “◀ / ▶” キー長押し（2 秒以上）すると、チャンネルスキャンが始まります。スキャン中に “◀ / ▶” キーを押すとスキャンの方向を変更できます。
2. 受信チャンネルが見つかり、そのチャンネルで一旦止まります。またそのチャンネルで交信もできます。
3. 受信や交信が終わり、そのまま約 5 秒間経過すると再びチャンネルスキャンが始まります。
4. チャンネルスキャンを終了するには、“M” キーまたは “PTT” スイッチを押してください。

グループモード機能

同じチャンネルを他のグループと同時に使用する場合、お互いの通話が混じり合っ通信しづらくなります。このグループ機能を使用することにより、同じグループでのみ快適に通話を行うことができます。

1. “M” キーを 1 回押すとグループ表示が点滅します。



2. グループ番号が点滅をしている間に“◀ / ▶”キーで希望のグループ番号を選択します。OF はグループ機能オフの状態です。
3. “PTT” スイッチを押してグループ番号を決定します。(約 10 秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります)

注意

グループ番号が違う相手が送信しても、音声は聞こえませんが受信状態になります。その時に“PTT”スイッチを押しても送信禁止音が鳴り送信できません。受信状態を示す表示が消灯している時に送信してください。グループ番号はチャンネルごとに設定できます。

ベルコール機能

“PTT” スイッチを2回素早く押すと、ベルコール機能が働きます。ベルコール機能は、コールトーンを送信して相手呼び出します。呼び出し音は3種類ありますので、あらかじめコールトーンの番号を割り振っておけば、誰からの呼び出しかが分かります。

1. “M” キーを2回押すとメイン表示がCA となり、サブ表示が点滅します。



2. サブ表示が点滅をしている間に“◀ / ▶”キーで希望のコールトーン番号を選択します。OF はコールトーン機能オフの状態です。
3. “PTT” スイッチを押してコールトーン番号を決定します。(約10秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります)

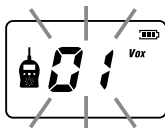
注意

グループ番号が設定されているときは、同じグループ番号に設定していないと、コール音は鳴りません。また通話中もコールトーンは送信されません。

ハンズフリー機能 (VOX)

“PTT” スイッチを押さずに、マイクに向かって話だけで、自動的に送信することが出来ます。話をやめると、自動的に受信待ち受け状態になります。

1. “M” キーを 3 回押して、VOX 表示を出します。



2. “◀ / ▶” キーで 1 ～ 5 の音の感度調整をします。
数字が大きいくほど高感度となり、5 でより小さな音に反応します。ハンズフリー機能を使用しない時は、OF を選択してください。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。(約 10 秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります)
 - ・ オプションのイヤホンマイクを使用すると、両手を離しての通話が可能となります。
 - ・ 送信開始音機能を ON にすると送信開始時にビープ音が聞こえるためより快適にハンズフリー機能を使うことができます。

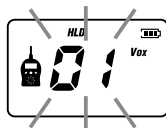
注意

- ・ 受信中、確認音が鳴っている時、コールトーンが鳴っている時、スケルチ OFF の時、各機能設定中は使用できません。
- ・ バッテリー容量が少なくなると、この機能は働きません。早めに充電してください。

VOX ホールドタイム (VOX 送信保持時間)

ハンズフリー機能で送信をする際に、音声を終了してから受信に戻るまでの時間を設定します。

1. “M” キーを 4 回押すと VOX アイコンと HLD アイコンが点灯し、メイン表示が点滅します。

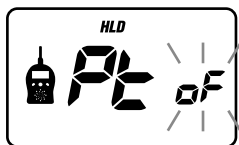


2. “◀ / ▶” キーで VOX ホールドタイム (1～5 秒) を選択します。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。(約 10 秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります)

PTT ホールド機能

送信をする時に“PTT”スイッチ を押しっぱなしにしなくても、一度“PTT”スイッチを押すだけで送信状態を保持することができます。送信状態を解除するときにはもう一度“PTT”を押すと解除されます。

1. “M” キーを 5 回押すと **HLD** アイコンが点灯し、メイン表示が **Pt** と表示されサブ表示が点滅します。



2. “◀ / ▶” キーで ON/OFF を選択します。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。(約 10 秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります)

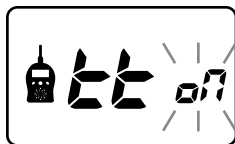
注意

- PTT ホールド機能がオンの時、ベルコール機能は使用できません。

送信開始音設定

送信開始音を ON に設定すると、送信を開始する時にスピーカーよりビープ音が鳴ります。VOX（ハンズフリー）を使用する時に送信するタイミングがわかるため、より快適にハンズフリー機能を使用していただくことができます。

1. “M” キーを 6 回押してメイン表示に **tt** を表示させます。



2. “◀ / ▶” キーで ON/OFF を選択します。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。（約 10 秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります）

注意

- ・ 送信開始音がオンの時、ベルコール機能は使用できません。

送信許可・禁止設定

送信設定を OFF にすることで無線機を受信専用（送信禁止）にすることができます。相互通信が必要な場合はこの設定は ON にしてご使用ください。

1. “M” キーを 7 回押してメイン表示に **tr** を表示させます。

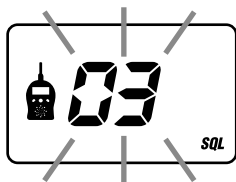


2. “◀ / ▶” キーで ON/OFF を選択します。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。（約 10 秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります）

スケルチ設定

スケルチレベル（雑音をカットするレベル）を設定します。通常は2または3に設定してください。OFFにすると、常に受信状態になり、送信できなくなります。この雑音に埋もれた通信を聞く時以外はOFFにしないでください。

1. “M” キーを8回押すと SQL アイコンを表示、メイン表示が点滅をします。

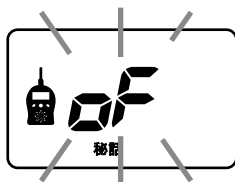


2. “◀ / ▶” キーでスケルチレベルを選択します（1～5，OFF）。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。（約10秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります）

秘話通話

秘話機能を設定すると、秘話設定していない人は通話を聞き取れなくなります。他の人に聞かれたくない大切な話などの時に設定すると便利です。

1. “M” キーを9回押して秘話アイコンを表示させます。



2. “◀ / ▶” キーで ON/OFF を選択します。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。(約10秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります)

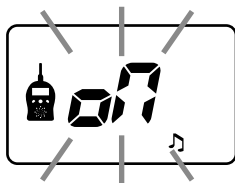
注意

この秘話機能は周波数反転方式による簡易秘話機能です。同一機器を使用することで通信が傍受される可能性があります。機密を要する通話にお勧めできません。

キートーンオン／オフ

操作音のオン／オフを設定します。

1. “M” キーを10回押して操作音アイコン🎵を表示させます。



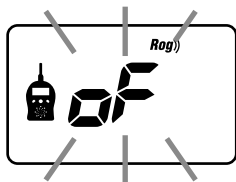
2. “◀ / ▶” キーで ON / OFF を選択します。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。(約10秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります)

音符アイコンが表示されているときは、キートーンがオンの状態です。

ラジャートーン

通話の後にラジャートーンを鳴らして通話の終了を相手に知らせます。

1. “M” キーを 1 1 回押して Rog)) アイコンを表示させます。

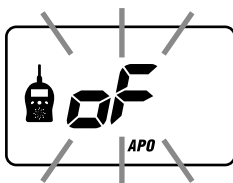


2. “◀ / ▶” キーで ON / OFF を選択します。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。(約 1 0 秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります)

オートパワーオフ機能

設定した時間になると、自動的に電源が切れます。電源の切り忘れを防止する機能です。

1. “M” キーを12回押して APO アイコンを表示させます。



2. “◀ / ▶” キーを押して希望の時間（1時間～6時間）またはオフ（oF）にします。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。（約10秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります）

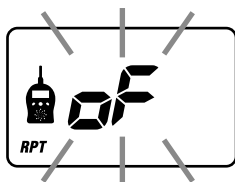
注意

オートパワーオフで電源が切れたあとに電源を入れる場合、電源・音量ノブを反時計回りに回して、一旦電源を切った状態にして下さい。

中継器対応チャンネル

本機は中継器用 27 チャンネルに対応しています。中継器を使用すると通信範囲を大幅に広げることができます。

1. “M” キーを 13 回押して RPT アイコンを表示させます。



2. “◀ / ▶” キーを押して ON / OFF の設定をします。
3. “PTT” スイッチを押して決定します。(約 10 秒間操作がない場合、表示状態で設定され通常表示に戻ります)

中継器対応チャンネルになっている場合、RPT アイコンが点灯します。

フラッシュライト

ちょっとした懐中電灯代わりや自分の位置を知らせるためなどに使用できます。

“ライト”スイッチを押すと、フラッシュライトが点灯します。

再度“ライト”スイッチを押すと、フラッシュライトが点滅します。

もう一回“ライト”スイッチを押すと、フラッシュライトは消灯します。

バッテリー残量を見る

バッテリー表示の3本のバーが全て点灯している状態であれば、問題なく使用することが出来ます。容量が少なくなると、バーの本数が少なくなります。その際は、注意して使用して頂き早めに充電してください。このバッテリー残量表示はあくまでも目安です。

バッテリーが無くなると、LO BR と表示され同時にアラームが数回なり、電源が切れます。

バッテリー残量



故障かな？と思ったら

もしも不具合が生じた場合、修理を依頼される前に下記の表により確認してください。該当する症状がない場合は、一旦 M（モード）キーを押しながら電源を入れてリセットしてください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電池の向きが間違っている	電池を正しく挿入する
	電池が消耗している	新しい電池に交換する
音量レベルを大きくしても音が出ない	グループ番号が違う	グループ番号を合わせる
相手と通話できない	チャンネルかグループ番号が違う	チャンネル番号、グループ番号を相手と同じに合わせる
	相手との距離が離れすぎている	通話の出来る距離まで近づく
	通話モードが違っている	相手と同じモードにする
PTT を押しても送信しない	受信アイコンが点灯している	チャンネル番号を変更するか、受信アイコンが消えるのを待つ
突然電源が切れる	APO(オートパワーオフ) が設定されている	APO をオフにする
中継通話が出来ない	RPT モードになっていない	RPT モードにする
PTT を押さないのに勝手に送信される	VOX(ハンズフリー) に設定されている	VOX をオフにする

故障やお取り扱い方法のご相談は：

お客様センター 042-793-7746

受付時間：10:00 ～ 12:00, 13:00 ～ 17:00

(土日祝日及び弊社休業日を除く)

別売りオプション

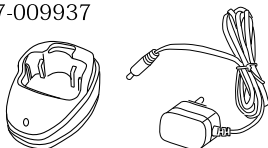
FC-G20 BT：ニッケル水素充電電池 1.2V 2,600mAh

JAN: 4515287-009920



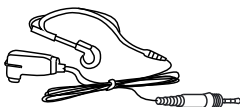
FC-G20 BC：充電器（AC アダプター付き）

JAN: 4515287-009937



FH-31WP：防水イヤホンマイク

JAN:4515287-009265



充電方法

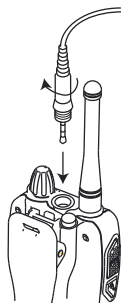
充電電池が本体に入っている状態で、本体のスリットに充電器のガイドを合わせて差し込みます。

充電中は緑のインジケーターがゆっくりと点滅します。充電が完了するとインジケーターが点灯に変わります。

充電が完了したら、本体を充電器から抜いてください。

FH-31WP イヤホンマイクの取り付け

本体のイヤホンマイクジャックのカバーを外してから、イヤホンマイクのプラグを本体上部のイヤホンマイクジャックに差し込みます。プラグはねじ込み式になっていますので、十分差し込んだあと、時計回りに回して奥までねじ込んで下さい。



仕様

周波数範囲	422.0500 ～ 422.3000 MHz (単信 20 波) 421.5750 ～ 421.9125 MHz (半複信 受信 27 波) 440.02 50 ～ 440.3625 MHz (半複信 送信 27 波)
通信方式	単信、半複信
送信出力	10mW
受信感度	-8dB μ V 以下 (@12dB SINAD)
低周波出力	100mW 以上 (@ 8 Ω 5% 歪)
動作温度範囲	-10℃ ～ +50℃
定格電圧	1.5V
使用時間	アルカリ電池：約 35 時間、Ni-MH 電池： 約 30 時間 *
充電時間	約 7 時間
サイズ (W x H x D)	51 x 90 x 30 mm (突起物を含まず)
重量	90 g (電池含まず)

- * 使用時間は目安です。測定条件：新品のアルカリ電池又は別売充電電池満充電の状態から、低周波出力 100mW、送信 10 秒、受信 10 秒、待ち受け 80 秒の繰り返し動作

周波数表

チャンネル No.	単信	チャンネル No.	半複信（中継器使用時）	
	送信／受信周波数		送信周波数	受信周波数
1	422.050 MHz	1	440.025 MHz	421.757 MHz
2	422.0625 MHz	2	440.0375 MHz	421.5875 MHz
3	422.750 MHz	3	440.050 MHz	421.600 MHz
4	422.0875 MHz	4	440.0625 MHz	421.6125 MHz
5	422.100 MHz	5	440.075 MHz	421.625 MHz
6	422.1125 MHz	6	440.0875 MHz	421.6375 MHz
7	422.125 MHz	7	440.100 MHz	421.650 MHz
8	422.1375 MHz	8	440.1125 MHz	421.6625 MHz
9	422.150 MHz	9	440.125 MHz	421.675 MHz
10	422.1625 MHz	10	440.1375 MHz	421.6875 MHz
11	422.175 MHz	11	440.150 MHz	421.700 MHz
12	422.200 MHz	12	440.1625 MHz	421.7125 MHz
13	422.2125 MHz	13	440.175 MHz	421.725 MHz
14	422.225 MHz	14	440.1875 MHz	421.7375 MHz
15	422.2375 MHz	15	440.200 MHz	421.750 MHz
16	422.250 MHz	16	440.2125 MHz	421.7625 MHz
17	422.2625 MHz	17	440.225 MHz	421.775 MHz
18	422.275 MHz	18	440.2375 MHz	421.7875 MHz
19	422.2875 MHz	19	440.2625 MHz	421.8125 MHz
20	422.300 MHz	20	440.275 MHz	421.825 MHz
		21	440.2875 MHz	421.8375 MHz
		22	440.300 MHz	421.850 MHz
		23	440.3125 MHz	421.8625 MHz
		24	440.325 MHz	421.875 MHz
		25	440.3375 MHz	421.8875 MHz
		26	440.350 MHz	421.900 MHz
		27	440.3625 MHz	421.9125 MHz

保証規定

本取扱説明書の最終ページに保証書を添付しています。保証書は必ず「お名前、ご住所、お買い上げ日、販売店名」などを記入、ご確認の上、販売店より受取ってください。

内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間は、商品のお買い上げ日より一年間です。

修理を依頼される前に、「故障かな？と思ったら」（32ページ）を参照していただき、解決されないようでしたら、本機の電源を切り、お買い求めの販売店または弊社にお問い合わせください。

修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、全てのデータが削除される場合があります。

本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。

正常な使用で故障した場合、保証書の規定に従い、お買い求めの販売店または弊社で、修理をさせていただきます。その際は、必ず保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎましたら、お客様の希望により有料にて修理致します。お買い求めの販売店または弊社までご相談ください。

無料保証規定

1. 保証期間内に、取扱説明書、添付ラベル等の注意書きに従って正常に使用し故障した場合、無料修理させていただきます。
2. 無料修理を受ける場合、お買い求めの販売店または、弊社まで保証書を添えてご依頼ください。
3. 御贈答品で保証書に記載されている販売店に修理の依頼が出来ない場合は、弊社まで御相談下さい。
4. 次の場合は、保証期間でも有料修理になります。
 - イ) 保証書の提示がない場合。もしくは、お客様名、販売店名、お買い上げ年月日の記入がない、もしくは字句を書き換えた場合。
 - ロ) 使用上の誤りや不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因で生じた故障及び損傷。
 - ハ) 故障の原因が本機以外の製品にある場合。
- 二) 落下、冠水などによる故障及び損傷
- ホ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他天災地変などの不慮の事故による故障及び傷害。
- ヘ) 製造番号の改変もしくは取り外した製品
- ト) 消耗部品（充電池、バッテリー等）

イヤホンマイクに関しては、正常な状態でご使用中に、製造上の不備に起因する故障が御購入後 1 カ月以内に生じた場合には、当社が無償保証致します。この場合には、ご購入日を証明できる領収書などのご提示が必要です。

保証は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)

*この保証は本書に明記した期間、条件において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

保証書

持込修理

保証期間中は正常な使用状態で故障した場合、保証書の規定により無料修理させていただきます。

修理は本保証書を提示し、お買い求めの販売店または、弊社にお問い合わせください。

本保証書はお買い上げ日、販売店名の記入捺印のないものは無効です。必ず記入事項を確認してください。

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

本製品は持込修理とさせていただきます。

【お客様へのお願い】

お手数ですがご住所、お名前、電話番号をご記入ください。

【ご販売店様へ】

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、本保証書をお客様にお渡しください。

商品名	特定小電力トランシーバー FC-G20R		
保証期間	1 年間	購入年月日	年 月 日
お客様	ご住所		
	TEL:		
	お名前		
販売店	住所		
	店名		

⑩

株式会社 エフ・アール・シー

〒194-0035 東京都町田市忠生 4-11-8

URL <http://www.frc-net.co.jp/>



4-123-001

Printed in China